

立川勇次郎氏 顕彰祭

8月16日(木)、養老鉄道の創設者である立川勇次郎氏の顕彰祭が養老駅の顕彰碑前で執り行われ、ご遺族や養老鉄道の関係者ら約100人が参列しました。

同顕彰会会長の大橋孝町長が祭文で「地元の人々と共に養老鉄道の存続に尽力し、沿線地域のさらなる発展を願う」と述べた後、立川勇次郎氏のひ孫の立川元彦さんら参列者は一人ひとり玉串をささげ、養老鉄道の安全と存続を祈念しました。



顕彰碑の前で祭文を読み上げる大橋孝町長

剣道全国大会 結果報告



大会結果の報告を行った渡邊怜友さん(左)と村上宕皇さん(中央)

8月23日(木)、関ヶ原町にある剣道道場「一剣」に所属する渡邊怜友さん(養老小6年)(押越)、村上宕皇さん(養老小5年)(三神町)が東京の日本武道館で行われた「第53回全国道場少年剣道大会」の結果報告に来庁しました。

大会は全国の予選を勝ち抜いた560チームで行われ、「一剣」の結果は西濃では初、県では11年ぶりとなるコート優勝(全体ではベスト16)でした。

出場選手たちは「予想以上の結果が出せてうれしい」と喜びのコメントを述べました。

ゲームプログラミングの発表会

9月1日(土)、町中央公民館で町内の小学5・6年生を対象としたキッズ講座「やってみよう! プログラミング」の発表会が行われました。

この講座は「Scratch」というアプリ作成ソフトを使用して、ゲームのプログラミングを行うもので、全体で8回の講座が開催されました。

この日はその講座で作成したゲームの発表会が行われ、参加児童らは作成する中で工夫した点、難しかった点などを発表した後、他の児童や保護者に作成したゲームを遊んでもらい、プログラミング学習の成果を発表しました。



自分たちで作成したゲームで遊ぶ参加児童